

徳山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	校外実習Ⅱ		
科目基礎情報							
科目番号	0132		科目区分	専門 / 選択			
授業形態	演習		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	情報電子工学科		対象学年	4			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員	杉村 敦彦						
到達目標							
企業におけるマナーなどを理解し、コミュニケーションやプレゼンテーション能力を養う。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
学科の到達目標項目との関係							
JABEE d-4 到達目標 C 2							
教育方法等							
概要	企業における生産と技術の実際に触れ、将来技術者になるための心構えや自覚を促し、また社会生活を体験することによって視野を広げることが目標とする。						
授業の進め方・方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本科目の内容、実施の流れについて説明する。 2. 学生の実習先企業を決定する。必要に応じてWebによるインターンシップ登録をする。 3. 実習テーマは、企業から提示されたものをもとに決定する。 4. 実習における全般的な注意事項等の説明をする。 5. 実習後、実習レポートを提出する。 						
注意点	当科目を履修した場合、4年次校外実習1は選択できない。 企業からの評価書、本人の報告書、日誌等を合わせて評価する。						
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	一般に8月から9月にかけて、企業等で実習（1週間）を受ける。10月（実習後）に実習レポートを提出する。				
		2週	校外実習1とは実習期間が異なる。				
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
基礎的能力	工学基礎	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	技術者倫理が必要とされる社会的背景や重要性を理解し、社会における技術者の役割と責任を説明できる。	3		
			高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを理解できる。	4			
専門的能力	専門的能力の実質化	インターンシップ	インターンシップ	企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができ、それを高めようと努力する姿勢をとることができる。	4		
			コミュニケーション能力や主体性等の「技術者が備えるべき能力」の必要性を理解できる。	4			
			実際の企業人等との仕事を通して自身のキャリアデザインを明確化することができる。	4			
			社会経験をふまえ、企業においても自分が成長していくことが必要であることを認識できる。	4			
			実務体験を企業や職種とのマッチングの場として考えて積極的な行動ができる。	4			
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100

基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
-------	---	---	---	---	---	-----	-----